

うるま市地域見守りネットワーク活動報告

～一人ひとりの参加が地域のちからに～

第6号



令和3年8月

発行:うるま市社会福祉協議会 地域福祉課
コミュニティソーシャルワーカー
TEL:098-973-5459

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、協定事業所の皆さまにおかれましても大変なご苦勞をされておられることと案じております。

このような中、協定事業所の皆さまからのご協力を得ながら、本事業を推進しているところではありますが、今回、本協定に基づく連絡がありましたので、ご報告させていただきます。

★直近の事例報告★

協定先からの連絡内容(配食サービスをしている事業所)

高齢夫婦宅へ届けた弁当が約2日分、手付かずの状態であることに気づき、異変を感じたため、室内を覗いたところ、台所で横になっているのを確認。声をかけると意識もはっきりしており、会話をすることも可能で本人から「大丈夫」と返答をもらったが、気になった為、社会福祉協議会へ連絡を入れる。

連絡を受けた後の対応(社会福祉協議会)

連絡を受け、社会福祉協議会相談員・自治会長・包括支援センター職員(高齢者の相談窓口)と一緒に訪問し、状況確認を行う。夫婦ともに、熱中症と思われる症状があったため、救急要請し市内医療機関へ搬送を行っている。夫婦は高齢者世帯であるため、今後は包括支援センター職員が関わりを持ち、在宅復帰に向け支援を行っていく予定となっています。

協定事業所の適格な判断と円滑な連絡対応により、早期発見を行うことができました。ご対応に心から感謝申し上げます。

また、暑い日が続いており、熱中症の症状による体調不良が増えています。些細なことでも構いませんので、業務中に関わりを持っている世帯などで異変を感じた場合には、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

※裏面に緊急時のフローチャートを記載していますので、ご確認ください。